WLI-PCI-G54 マニュアル

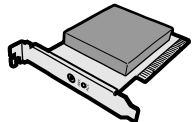
らくらく! セットアップシート

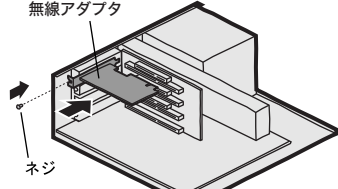
このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

無線アダプタを使えるようにする

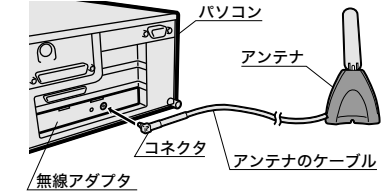
ステップ1 箱に入っているものを確認しよう

万がいち、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

- □無線アダプタ（子機）..........................1 台
- □AirNavigator CD ....1 枚

- □アンテナ（WLE-NDR）.......................1 台
- □安全にお使いいただくために必ずお読みください.............................1 枚
- □らくらく！セットアップシート(本紙)..1 枚
- □ユーザー登録はがき・保証書 ....1 枚

※本製品は、本紙によってセットアップや設定ができるため、冊子のマニュアルは添付しておりません。本紙よりも詳細な情報が必要な場合は、AirNavigator CD内の電子マニュアルを参照してください。
※ユーザー登録はがきは、保証書を切り離した後、必要事項をご記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は大切に保管してください。
※追加情報が別紙で添付されている場合は、必ず参照してください。

ステップ2 無線アダプタ（子機）を取り付けよう

無線アダプタ（子機）をパソコンに取り付けてドライバをインストールします。

- ・パソコンによってカバーの取り付けやPCIバスの位置、数が異なります。必ず、パソコンのマニュアルを参照し、各メーカーの定める手順に従って、取り付けをおこなってください。
- ・周辺機器の取り付け／取り外しについては、各周辺機器のマニュアルを参照し、各メーカーの定める手順に従ってください。

1. パソコンおよび周辺機器の電源スイッチをすべてOFFにして、電源コードをコンセントから抜きます。
2. パソコン本体に接続してあるケーブル類をすべて外した後、パソコン本体のカバーを取り外します。
3. 無線アダプタ（子機）を取り付ける箇所のPCIバススロットのカバーを取り外します。
   - ・取り外したネジは本製品を固定するのに使用します。紛失しないようにしてください。
   - ・取り外したPCIバススロットのカバーは大切に保管しておいてください。
   - ・PCIバススロットのホコリ・チリなどは取り除いてください。
4. 無線アダプタ（子機）をPCIバススロットに取り付け、PCIバススロットのカバーを固定していたネジで本製品を固定します。

メモ 奥までしっかりと差し込まれているか確認してください。

5. パソコン本体のカバーを元通りに取り付けた後、ケーブル類を接続し、電源プラグを元通りに差し込みます。
6. 無線アダプタ（子機）にアンテナのケーブルを接続します。

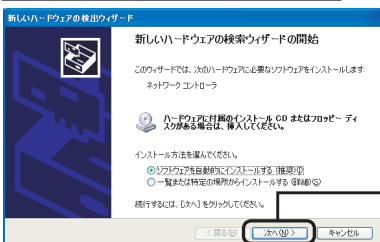
アンテナのコネクタは精密部品です。アンテナのケーブルやコネクタに無理な力が加わらないよう、取り扱いには十分注意してください。コネクタに強い力が加わると、破損の原因となります。また、ケーブルを抜くときは、コネクタを持ってまっすぐ抜いてください。

メモ アンテナの設置場所は、電波状態に応じて変更してください。

7. アンテナを、机の上やモニタの上など見通しのよい高い所に設置してください。

メモ 金属製のものからできるだけ離して設置してください。

8. パソコンの電源をONにします。

Windows XPをお使いの場合

「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。

①[次へ]をクリックします。

②「次のハードウェアのソフトウェアがコンピュータに見つかりませんでした」と表示されますので、[次へ]をクリックします。

③「このハードウェアをインストールできません」と表示されますので、[完了]をクリックします。

右上へつづく

Windows 2000をお使いの場合

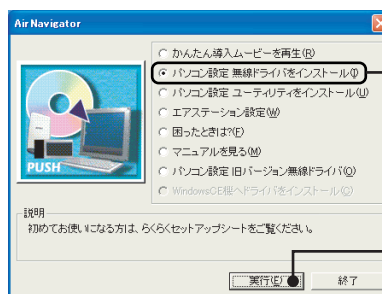
①[新しいハードウェア検索ウィザードの開始]画面が表示されたら、[次へ]をクリックします。
②[ハードウェアデバイスドライバのインストール]画面で、「デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」にチェックを入れ、[次へ]をクリックします。
③[ドライバファイルの特定]画面で、全てのチェックを外し、[次へ]をクリックします。
④[ドライバファイルの検索]画面で、「デバイスを無効にする」にチェックを入れ、[完了]をクリックします。

Windows Meをお使いの場合

①[新しいハードウェアの追加ウィザード]が表示されたら、「最適なドライバを自動的に検索する（推奨）」にチェックを入れ、[次へ]をクリックします。
② [デバイス未検出]画面で、[完了]をクリックします。

Windows 98SEをお使いの場合

①[新しいハードウェアの追加ウィザード]が表示されたら、[次へ]をクリックします。
② [検索方法の選択]画面で、「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」に チェックを入れ、[次へ]をクリックします。
③[検索場所の指定]画面で、全てのチェックを外し、[次へ]をクリックします。
④[デバイス未検出]画面で、[次へ]をクリックします。
⑤[不明なデバイス]画面で、[完了]をクリックします。

9. 添付のCD-ROM（AirNavigator CD）をパソコンにセットします。しばらくすると、AirNavigatorが起動します。
10.

1 「パソコン設定 無線ドライバをインストール」を選択します。
2 ［実行］をクリックします。

11. インストーラが起動しますので［次へ］をクリックします。
12. 使用許諾契約を読み、同意できる場合は［同意する］を選択して、・［次へ］をクリックします。
13. 「インストールが完了しました」と表示されたら、［完了］をクリックします。

ステップ3 無線アダプタ（子機）を設定しよう

無線アダプタ（子機）をAirStationなどのアクセスポイント（親機）に無線で接続します。Windows XPとWindows Me/2000/98SEで手順が異なりますので、お使いのパソコンにあわせてお読みください。

Windows Me/2000/98SEをお使いの方は、**裏面**をご覧ください。

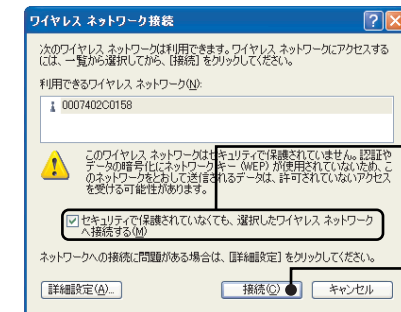
Windows XPをお使いの場合

ワイヤレスネットワークの接続画面で設定します。
※ここでは、Windows XP Service Pack1を適用した画面を元に説明します。

1. パソコンの画面右下のタスクトレイにある「ネットワーク接続」アイコン（ ）を右クリックし、［利用できるワイヤレスネットワークの表示］を選択します。
2.

1 アクセスポイント（親機）のESS-IDを選択します。
2 AirStation（親機）に設定された暗号化キー（WEP）を入力します。(「ネットワークキーの確認入力」欄が表示されない場合は、「ネットワークキー」欄にだけ暗号キーを入力してください。)
3 チェックマークが外れていることを確認します。（この項目が表示されない場合は、次の手順4へ進んでください。）
4 [接続]をクリックします。

メモ

- ・AirStationなどアクセスポイントのESS-ID（出荷時設定）は、各アクセスポイントに添付されているマニュアルを参照してください。
- ・この画面が表示されたときは、アクセスポイント（親機）に暗号化キー（WEP）が設定されていませんので、以下のように接続します。

1 チェックをつけます。
※お使いの環境によって、チェックボックスが表示されないことがあります。
2 [接続]をクリックします。

裏面へつづく

おもて面からのつづき

❸ 正しく接続すると、画面の右下に「ワイヤレスネットワーク接続に接続しました」と表示されます。

メモ

AirStation（親機）との通信状態が確認できます。

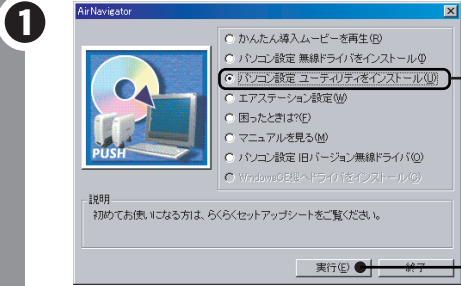
1 画面の右下のタスクトレイにある「ネットワーク接続」アイコン（ ）をクリックします。

2 通信速度（速度）と電波の強さ（シグナルの強さ）を確認できます。

3 確認したら、［閉じる］をクリックします。

Windows Me/2000/98SEをお使いの場合

クライアントマネージャで設定します。

❶

1 「パソコン設定 ユーティリティをインストール」を選択します。

2 ［実行］をクリックします。

・上記のAirNavigatorが起動していないときは、添付のCD-ROM（AirNavigator CD）をパソコンにセットしなおしてください。

❷ ［次へ］をクリックします。

❸ 使用許諾契約を読み、同意できる場合は［はい］をクリックします。

❹ ［次へ］をクリックします。
・インストール先を変更する場合は、［参照］をクリックして変更してください。

❺ 「クライアントマネージャ」のみにチェックがついていることを確認して、［次へ］をクリックします。

❻ 「クライアントマネージャをデスクトップに登録する」にチェックがついていることを確認して、［次へ］をクリックします。

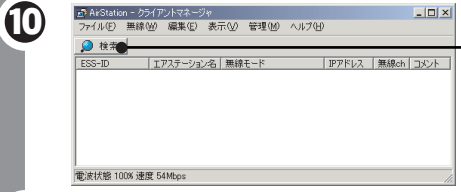
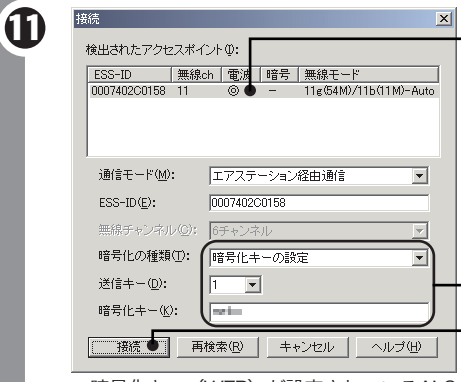
❼ ［次へ］をクリックします。

❽ 「InstallShield Wizardの完了」と表示されますので、［完了］をクリックします。
パソコンが再起動されます。

❾ クライアントマネージャを起動します。
デスクトップ上の「クライアントマネージャ」アイコン（ ）をダブルクリックします。

❿

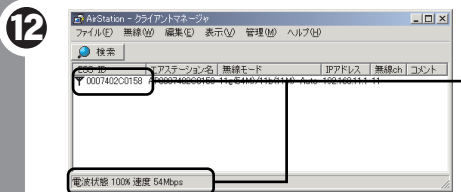
「検索」ボタン（ 検索 ）をクリックします。

⓫

1 アクセスポイント（親機）のネットワーク名（ESS-ID）を選択します。

2 暗号化キー（WEP）が設定されているアクセスポイント（「暗号化」欄が「○」のもの）に接続するときは、ここに暗号化キーを入力します。

3 ［接続］をクリックします。

・暗号化キー（WEP）が設定されているAirStation（「暗号化」欄が「○」のもの）に接続するときは、暗号化キーを入力します。入力の際は、通常、「送信キー番号」を「1」に設定します。
・複数の暗号化キーに対応しているAirStationに接続する場合は、「送信キー番号」とそれに対応した暗号化キーを入力します。

⓬

アクセスポイント（親機）のESS-IDが表示され、「電波状態」が表示されます。
アクセスポイント（親機）への接続後、「速度」に「2Mbps」など遅い通信速度が表示されることがあります。この場合は、実際に通信をおこなうと正常な通信速度が表示されます。

■本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。
■本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。
■本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。
■本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。
■本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。
■本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
■弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
■本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
■本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

困ったときは

●無線アダプタ（子機）のドライバがインストールできない場合

⇒Windows XP/2000では、コンピュータの管理者権限があるユーザー（Administrator等）でログインしてください。

※Windows XP/2000で登録したユーザーは、制限つきアカウントに設定しない限り、コンピュータの管理者権限を持っています。

⇒CyberTrio-NXがインストールされているNEC製PC98-NXシリーズをお使いの場合は、アドバンストモードに設定してください。詳細は、パソコンのマニュアルを参照してください。

●パソコン同士をネットワークで接続する場合

⇒各パソコンにネットワークの設定が必要です。Windowsのマニュアルやヘルプを参照して設定してください。また、CD-ROM「AirNavigator CD」内の「マニュアルを見る」→「設定ガイド ネットワーク構築例」→「TCP/IPの設定例と共有設定例」にも設定例が記載されていますので、参考にしてください。

●アクセスポイント（親機）を使わずに無線パソコン同士で通信する場合

⇒CD-ROM「AirNavigator CD」内の「マニュアルを見る」→「設定ガイド ネットワーク構築例」→「無線LANパソコン間で通信する場合の設定方法」を参照してください。

●その他、困ったときは

⇒CD-ROM「AirNavigator CD」内の「困ったときは？」を参照してください。

補足情報

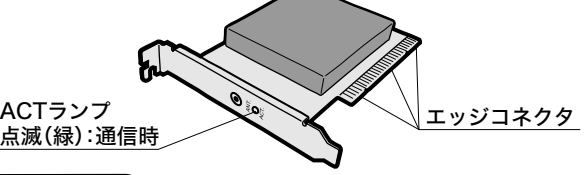
電子マニュアルの読み方

❶ CD-ROM「AirNavigator CD」をパソコンにセットします。

❷ ［マニュアルを見る］を選択し、［実行］をクリックします。

❸ 「設定ガイド ネットワーク構築例」を選択し、［OK］をクリックします。

❹ 表示させたい項目を選択し、[OK]をクリックします。
パソコンにAdobe Acrobat Readerがインストールされていないときは、Adobe Acrobat Readerのインストールが始まります。画面に指示にしたがって、インストールを完了してください。

各部の名称とはたらき

製品仕様

●無線LANアダプタ

無線LANインターフェース	準拠規格	ARIB STD-T66(小電力データ通信システム規格) 無線LAN標準プロトコル　IEEE802.11g/IEEE802.11b
	伝送方式	直交周波数分割多重（OFDM方式）　半二重　（IEEE802.11g準拠） 直接スペクトラム拡散（DS-SS方式）半二重　（IEEE802.11b準拠）
対応パソコン(*1、2)		PCIバス(Rev.2.1以降)搭載したDOS/V機（OADG仕様）または、NEC PC98-NXシリーズ
対応OS(*3)		Windows XP/Me/2000/98SE
送信周波数範囲		2412〜2472MHz（中心周波数：全13チャンネル）
データ転送速度		54/48/36/24/18/12/9/6Mbps(IEEE802.11g) 11/5.5/2/1Mbps(IEEE802.11b)
セキュリティ		128(104)/64(40)ビットWEP
消費電力／消費電流		最大2200mW / 3.3V　　最大600mA
動作環境		温度：0〜55℃　　湿度：20〜80%（結露なきこと）
外形寸法 ／ 重量		86mm(W)×14mm(H)×120mm(D)（ブラケット含まず） ／ 94g

●アンテナ（WLE-NDR）

アンテナ本体	スリーブ型無指向性アンテナ
偏波方式	垂直偏波
ケーブルサイズ/長さ	1.5D-FB/1.5m
周波数範囲	2412〜2484MHz(中心周波数：全14チャンネル)
VSWR	1.5以下(同軸ケーブル含む)
アンテナ利得	絶対利得2dbi以上(ケーブル損失分を含まず)
最大入力電力	1W
動作温度/湿度	0〜40℃　/　20〜80%(結露なきこと)
外形寸法/重量	65mm(W)×164mm(H)×73mm(D)　/　約110g

*1 デュアルプロセッサ搭載機種には対応していません。
*2 弊社製プリントサーバLSPシリーズおよび弊社製ネットワーク診断ツールNetSeekerには対応していません。
*3 WindowsのACPI機能には対応していません。
※最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照してください。

■電波に関する注意

● 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合証明を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
● 次の場所では、本製品を使用しないでください。
電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ（環境により電波が届かない場合があります。）
※ 弊社製無線プリンタバッファ（RYP-G）、他社製の無線プリンタバッファなどで2.4GHz付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。
● 本製品は、技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
・本製品を分解／改造すること
・本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
● 本製品の無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
・産業・科学・医療用機器
・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
①構内無線局（免許を要する無線局）　②特定小電力無線局（免許を要しない無線局）
● 本製品を使用する場合は、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。
1 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
3 その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社インフォメーションセンターへお問い合わせください。

使用周波数帯域	2.4GHz
変調方式	DS-SS方式/OFDM方式
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

らくらく！セットアップシート
2003年 7月4日 第２版発行　発行 株式会社メルコ